

人は見かけが9割、 ゴルフは道具が9割



恵庭市医師会
恵み野内科循環器クリニック 練合 泰明

還暦を迎えるにあたり、新春随想の執筆依頼が届きましたので、僭越ながら拙い文章に少々お付き合いください。

私は勤務医を経て恵み野に開業し、今年で22年を迎えます。医学部を卒業して30数年も経つと大学の同窓会誌が送られて来ないことになり、そろそろ医師としても人間としても終焉に向かいつつあることを実感しております。とはいえ、5年前から箸にも棒にもかからなかったゴルフを一から再開し、残り人生を楽しく有意義に過ごそうと気持ちを切り替えました。この間、心房細動に対するカテーテルアブレーションや未破裂脳動脈瘤の手術を受けましたが今のところ再発はなく、年の割には元気に過ごしております。

ところで、ゴルフをなさる皆さん、ボールを打つ時ボールのどこを狙って打ちますか？ 漠然とボールを打っていませんか？ ゴルフの指南書を見ても具体的に書かれているものは、私の知る限りありません。また、スウィングをする時どのような軌道をイメージして打ちますか？ そして、道具。どんな「かたち」のドライバー、アイアンを使っていますか？ それらをご自身に合っていますか？ ゴルフスウィングは下半身から始動し体を捻転させながらインサイドインに振る。そうは言っても、いまだにどうしてよいかさっぱり分かりません。「やさしい、曲がらない、飛ぶ」のうたい文句で飛びついたゴルフクラブは数知れず。私の憩いの場のロフトでは、今やゴルフショップを営めるほど多数のクラブが転がっております。要は、私の思った打ち方でうまく当たるクラブに出会うことが、ゴルフ上達への近道と考えるようになりました。『人は見かけが9割』という著書がありますが、私にとってゴルフは「道具が9割」です。今年こそは私にあった至極のクラブを見つけ、ベストスコアを更新したいと思えます。

短歌を始めてみました



羊蹄医師会
倶知安厚生病院 太田 桂一

何か生涯できる趣味を持ちたいと常々思っていた。伝統的で文化的なものがいい。すぐに始められるものもいい。道具などが不要でないものもいい。

思いついたのが、「短歌」と「俳句」。世界最少文字数の文学である俳句にも惹かれたが、季語を覚えるのが大変そう。17文字ではかえって難しいかも。調べてみると、短歌の方が歴史的には古い。7世紀後半の「万葉集」に既に登場している。そして何より、鎌倉時代以来、皇室行事として歌会が行われている。明治7年には、国民も宮中の歌会に参加できるようになり、「歌会始の儀」は現在まで綿々と続いている。

目標が決まった。「歌会始の儀」に出よう。応募は毎年2万件ほど。選ばれる歌は10件。確率2千分の1だ。以前は「園遊会に招待されるような活動をする」という野望もあったが、現実的にはなかなか難しい。短歌こそ、皇居に招かれる最も近道ではないか。

やってみて 学んで更に やりなおし
何度やっても 上手くはいかぬ

来年お正月は皇居にいます（笑）。



神仙沼にて呻吟中